

徳島県 高校入試情報

令和7年度徳島県入試の全体傾向

●令和7年度入試の大問構成

- 大問1 言語事項
大問2 小説 佐藤まどか「一〇五度」
大問3 論説文 田中修「植物はすごい 生き残りをかけたしくみと工夫」
大問3 論説文 稲垣栄洋「怖くて眠れなくなる植物学」
大問4 古文 「続古事談」
大問5 作文 「携帯電話やスマートフォンの使い方」について

言葉の知識問題、小説、古文、説明文、課題作文で構成された5大問構成。行書を書く問題や、複数の資料を組み合わせた説明文が、昨年に続いて出題されている。

★徳島県の入試は、『国語の新研究』でバッチリ！

■漢字・語句問題の対策

漢字の読み書きが4問ずつと、書写、文法の合計10問が大問1に出題され、配点22点と大きい。3年連続で、楷書の漢字を行書で書く問題が出題された。知らないと解答できないため、行書について復習しておきたい。

新研究で対策！

- 即効チェック①～④「入試によく出る！ 漢字の読み書きTOP200」(p. 160～163)では、過去20年間の高校入試でよく出題された漢字を集中して学習できます。
●フォロー特集「覚えておきたい語句」(p. 22～25)は、入試でよく出題される語句の意味を、イラストを用いて紹介しています。

■複数資料の読み取り問題の対策

大問3は本年度も、説明文、ノート、補足資料などの複数の資料を読み取る形式だった。全体的に文章記述式の問題が多いため、複数の文章・資料から必要なポイントを的確にまとめる力をつけることが重要になる。

新研究で対策！

- 「26 グラフ・図表を読み取ろう」(p. 136～139)や、「30 特別単元 複数の情報を読み取ろう」(p. 154～157)で、ポイントの確認と問題練習ができます。
●入試実戦講座⑪「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p. 184～185)で、近年増加傾向の活用問題を集めています。

令和7年度徳島県入試では、書写の知識を問う問題が出題されました。楷書体と行書体の違いや特徴をおさえておきましょう！



★徳島県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	漢語・語句	漢字を学ぼう	●	●	●	●
		熟語を学ぼう	●	●	●	●
		語句を学ぼう				
	現代文	文脈で語句の意味を考えよう			●	●
		展開をとらえよう	●		●	●
		心情をとらえよう	●	●	●	●
		行動の理由・人物像をとらえよう	●		●	
		文章中の表現を味わおう	●	●	●	●
		話題・情報をとらえよう		●	●	●
		指示語・接続語をとらえよう		●		
		文章を解釈しよう		●	●	●
		理由をとらえよう				●
		段落構成をとらえよう				
		要旨をとらえよう	●	●	●	●
	古典	古文のかなづかい・古語を学ぼう		●	●	●
		古文の会話・主語をとらえよう		●		●
		古文の展開をとらえよう		●	●	●
		漢文・漢詩を味わおう	●			
	詩歌	詩・短歌を味わおう				
		和歌・俳句を味わおう				
	文法	文の組み立てを知ろう			●	
		自立語を学ぼう				
		付属語を学ぼう	●	●		●
	表現・情報	敬語を使いこなそう				
		グラフ・図表をとらえよう				
		話し合いをとらえよう	●	●	●	
		伝え方の工夫を学ぼう				
		課題作文を書こう	●	●	●	●
		★聞き取り問題				
別出の題傾向	別出の題傾向	大問数	5	5	5	5
		小問数	29	27	28	30
		記号解答	6	6	5	4
		記述式解答(漢字の読み書きも含む)	23	21	23	26

★新研究で出題した徳島県の入試問題(令和7年度)

- p. 13大問1 (1) 漢字 ● p. 17大問1 (7) 熟語
● p. 129 (3) ②付属語 ● p. 175課題作文